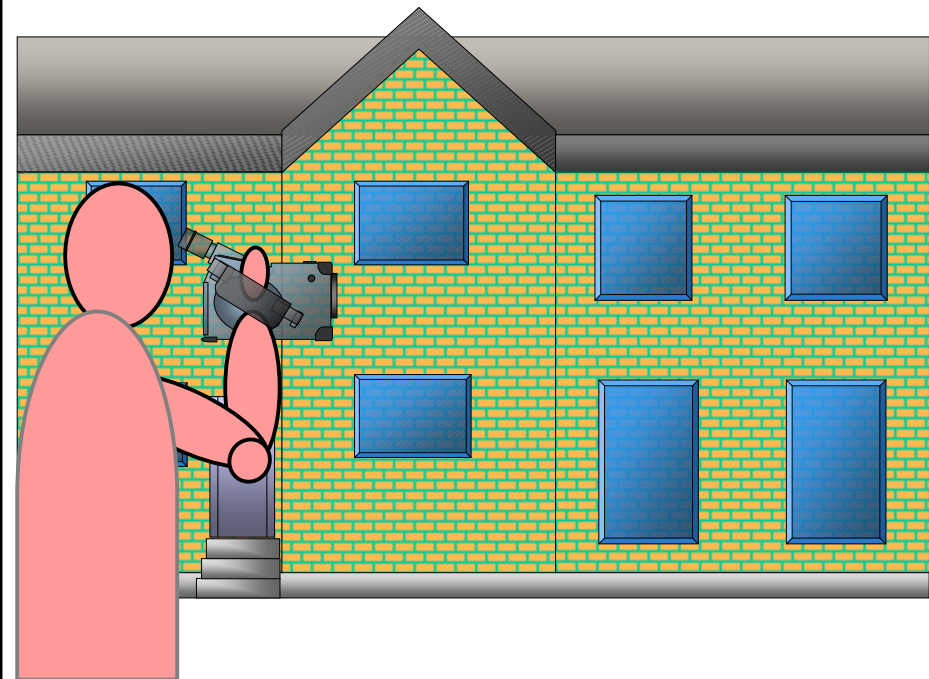
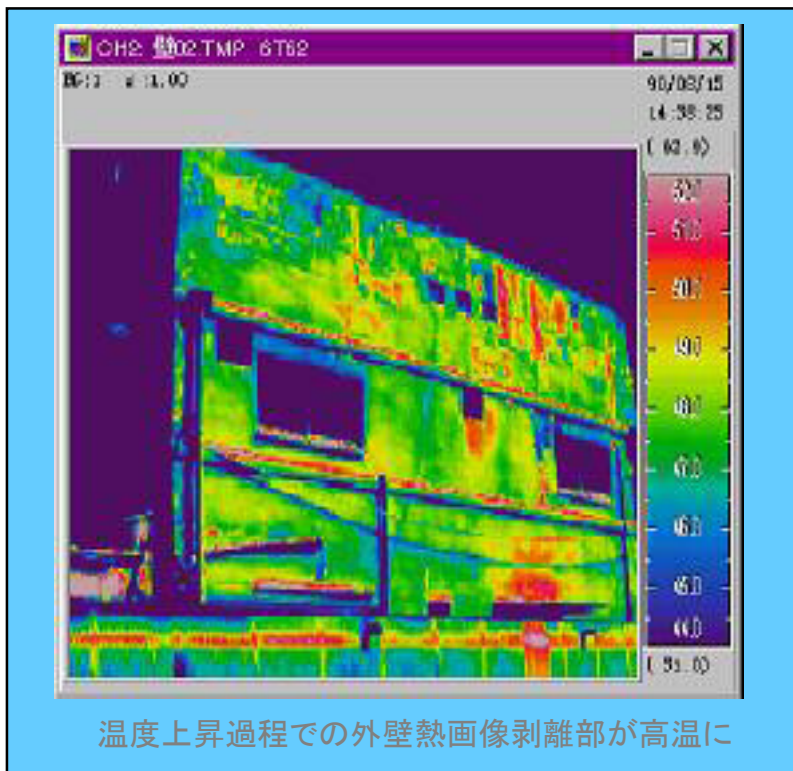


タイル・モルタル外壁剥離診断

外壁の仕上げモルタルやタイルが剥離すると、内部に空気層ができます。空気層は大きな断熱性を持っているため、仕上げ材が剥離している部分では、外壁表面と躯体との間の熱伝導が小さくなります。サーモレーサを使用することにより剥離部分の熱伝導の違いを温度差として熱画像で表示することができます。



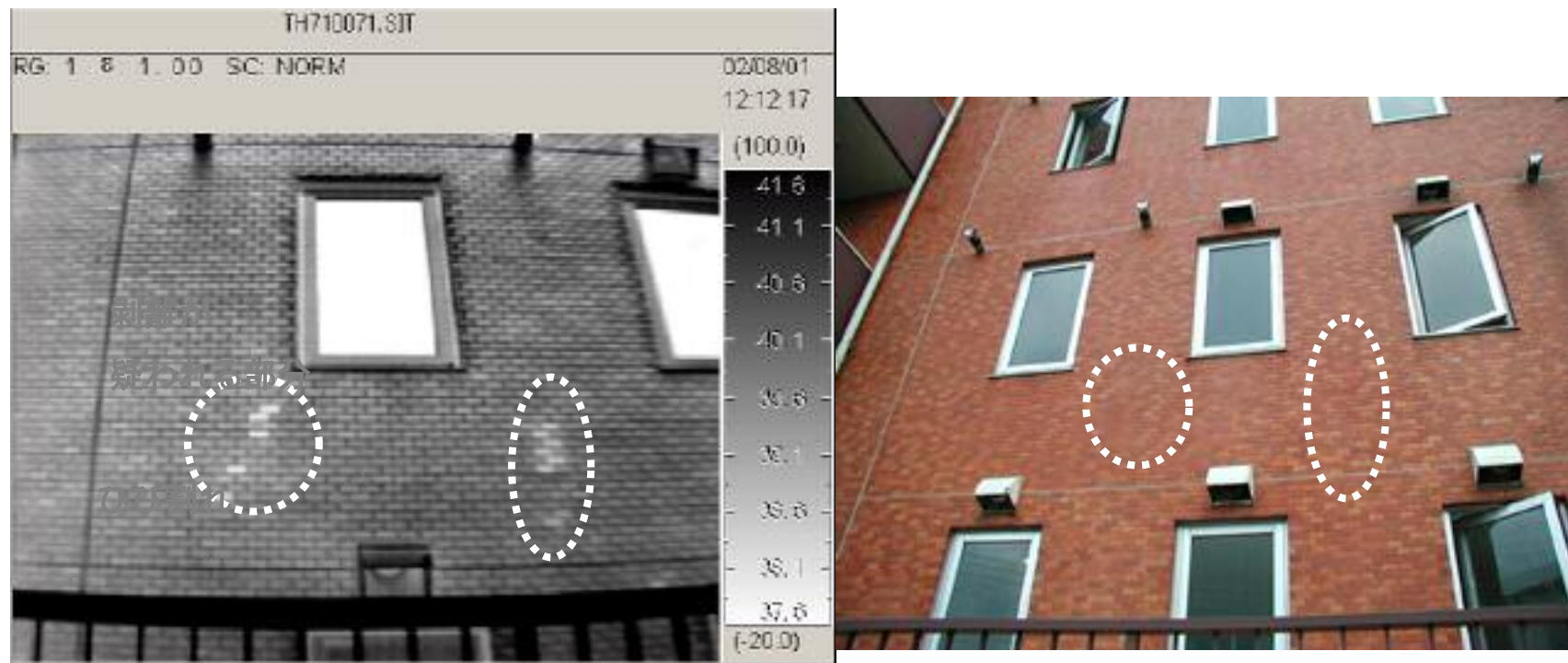
●事例：集合住宅東面

外壁剥離診断。可視画像と比較することで、どの部位に異常があるかの判断が分かり易く簡単に行えます。



●事例：集合住宅東面

外壁剥離診断。可視画像と比較することで、どの部位に異常があるかの判断が分かり易く簡単に行えます。



ひび割れ

外壁のひび割れは、雨が吹き付けた後に計測すると、ひび割れに沿って低温となるため判別できます。また、同様に漏水などの影響を見ることが出来ます。

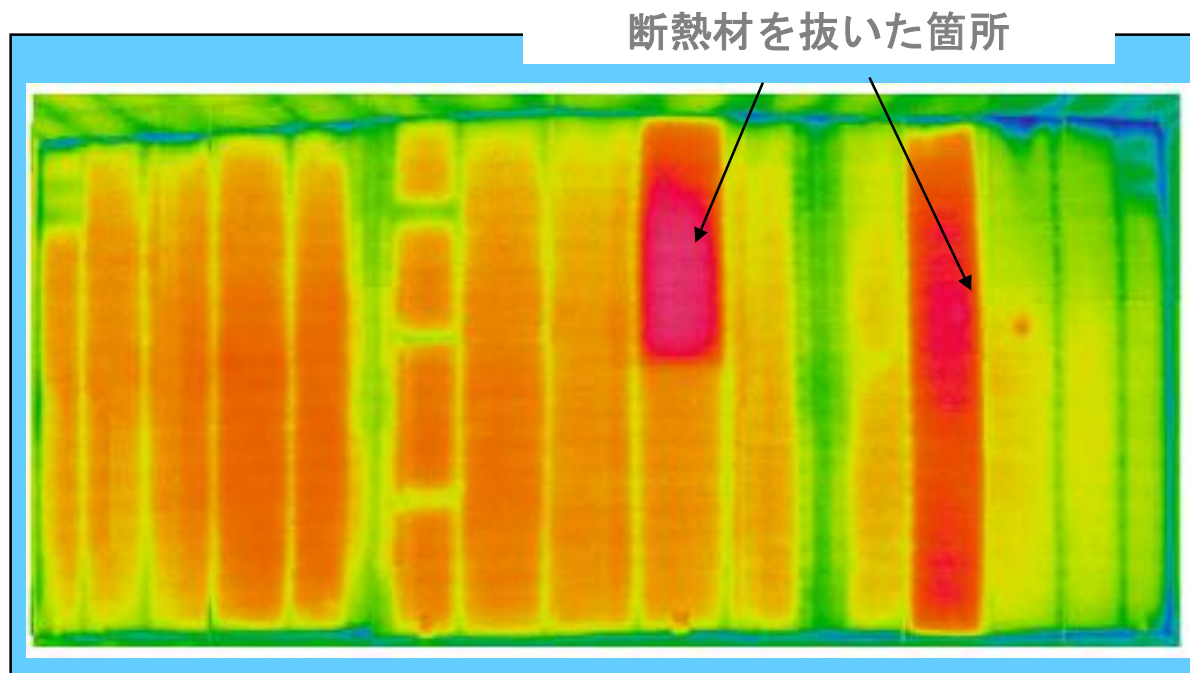


熱画像

可視画像

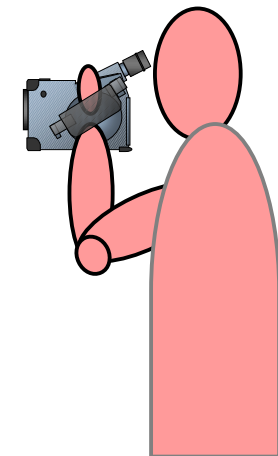
住宅の省エネルギー・断熱診断

住宅の断熱性が悪いと結露の原因になったり、外部からの熱の流入・流出により効率的な空調が出来ない等省エネルギーの観点からも注目されています。サーモレーサを使用することにより断熱不良部分の熱伝導の違いを温度差として熱画像で表示することができます。



断熱材を抜いた箇所

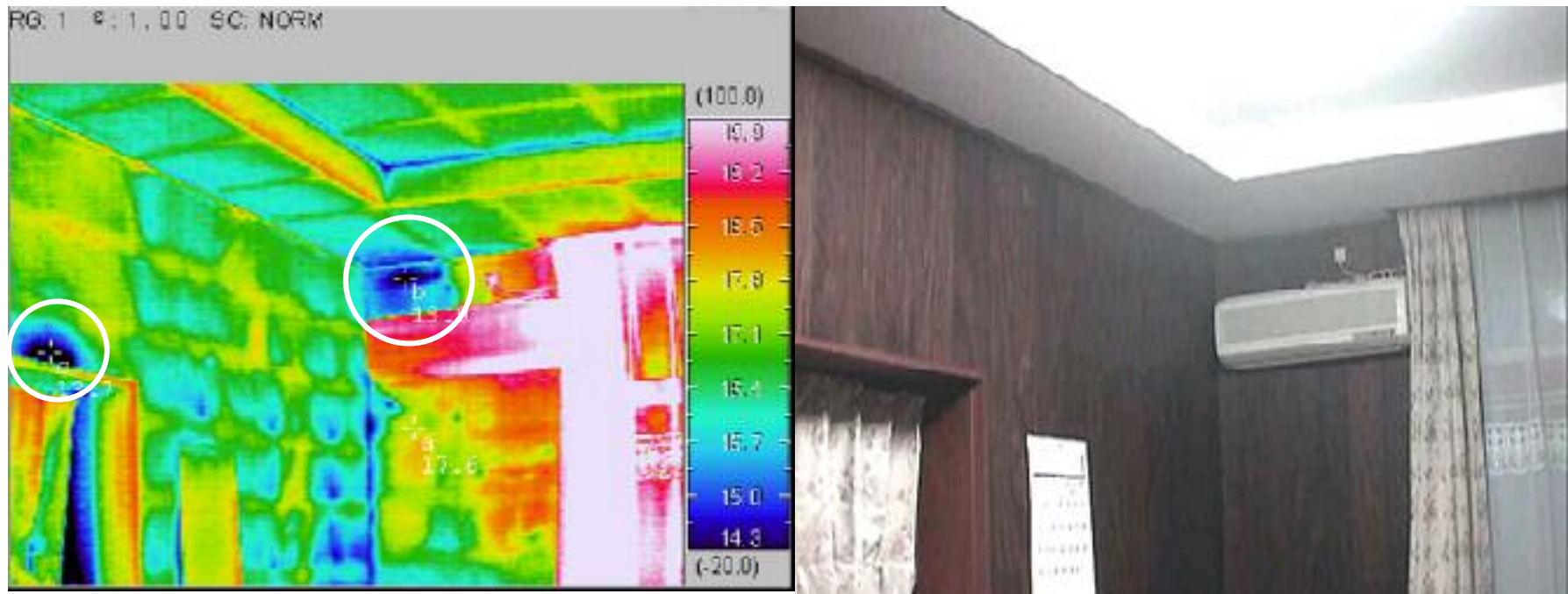
意図的に断熱材を抜いた実験壁



住宅の熱画像

断熱材の検証

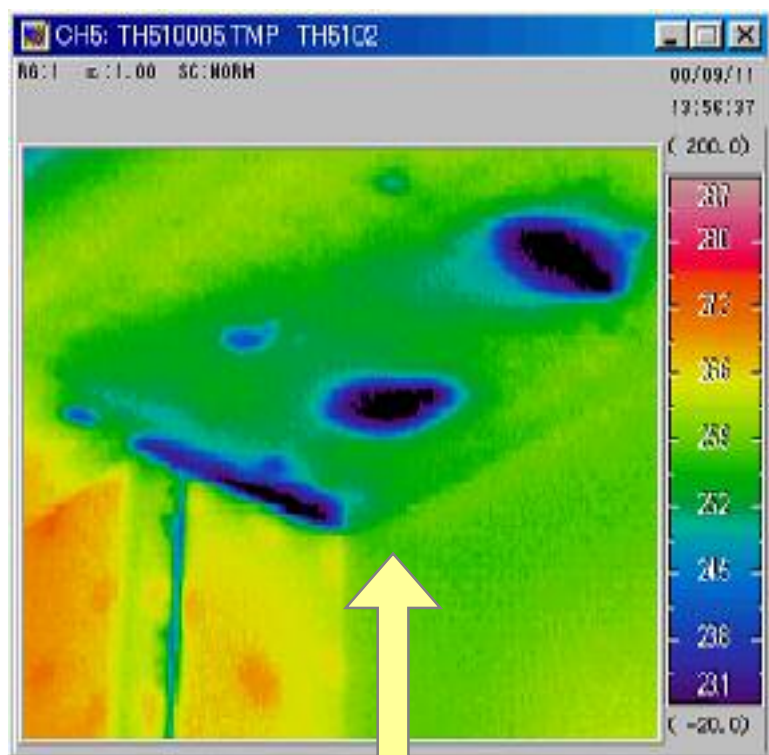
図中○部分に断熱材の欠損による低温域が見られる



漏水（雨漏り・水配管漏水）

天井裏で雨漏りが発生した場合、雨漏り部位はサーモグラフィによって低温部として表示されます。

可視では判断しにくい天井裏の漏水の広がりの様子が観測できます。



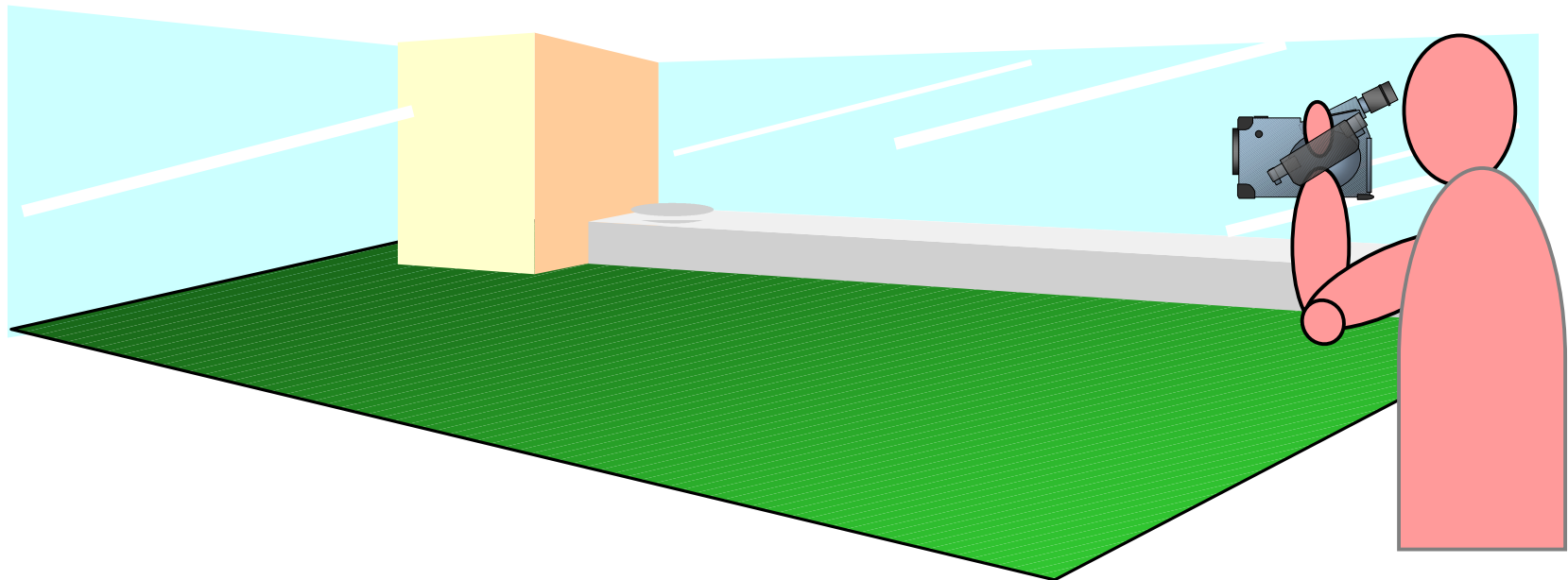
天井裏の漏水の広がりがよく分かる。



雨漏り部位：可視では天井裏の様子は分からない。

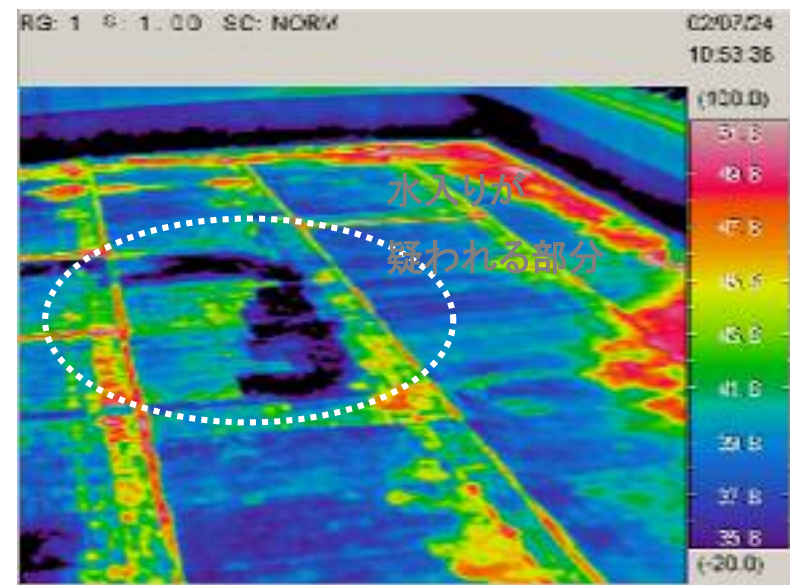
防水シート

防水シート下に浸入した水や防水シートのはらみの診断を行えます。
シート下に浸入した水は外見上では判りませんが、サーモグラフィで晴天時に
見るとその部分だけ低温に現れます。
はらみの場合は外壁と同じく空気による断熱の違いで、温度上昇時は高温に
下降時は低温に表示されます。



● 診断事例：屋上防水シートの水入り。

可視画像と熱画像を比較することで、
異常部の位置の特定が簡単に行えます。



屋上防水シートに浸入した水の検出。可視画像と比較することで、どの部位に異常があるかの判断が分かり易く簡単に行えます。